

垂水区会

垂水区だより

福6-垂 芦原 耐子

垂水会旅行懇親部会で播州路日帰り

2003年の垂水会懇親旅行は10月22日(水)に行いました。2台のバスに分乗した一行69名は8時30分、垂水漁港前を出発、布施畑ICから山陽道に乗り、途中2箇所の休憩の後、建設中で一部開通している播磨道を北上し、播磨科学公園都市に着きました。ここで展示施設オプトピア、大型放射光施設スプリング8、先端科学技術支援センターを見学した後、支援センターの多目的ホールで建築家ピーター・ウォーカー氏設計になる枯山水の庭園を窓外に眺めながら昼食を取りました。



米人が設計した支援センターの庭園

午後は国道を北上し、中国自動車道佐用ICを過ぎ、因幡街道の旧宿場町平福の町並みや武蔵最初の決闘の地をボランティアのガイドで観た後、福崎に移り、柳田国男記念館を見学し、近くの町営もちむぎの館でそばを試食し、お土産を買って全行程が終わり、中身がぎっしり詰まったツアーに満足した一行が播但道を姫路に向かって走った頃は西の山並みに日が沈むところでした。

H15年度神戸市地域活動賞を受賞

昨年10月28日(火)相楽園において生活環境の整備向上に関する活動に対する垂水会241名に栄えある賞状と盾を神戸市より頂きました。概要は「垂水区在住のシルバーカレッジ卒業生で構成されており、



地域活動賞盾

土曜・日曜・祝日にはJR舞子駅周辺で、観光に訪れる人へのガイドを行ったり、毎月20日に駅周辺の清掃活動を熱心に行っている。同年6月からは垂水駅周辺のガイド活動や、福田川周辺の清掃活動も開始した。また障害者等への散歩や車椅子の介助など福祉活動にも取り組んでいる」ということでした。

同年度の受賞対象者は、あじさい賞個人42名、地域活動賞29団体でした。垂水会もその活動賞の内のひとつでした。諸先輩方が培い、努力を続けてくださったものが私達に手渡されたという幸せを感じました。これに際して、シルバーカレッジ事務局よりお祝いの電報を頂きました。ありがとうございました。また区民広報紙「たるみ」12月号に、吉崎垂水会代表が神戸市長と一緒にの写真が載りました。賞状と盾は「わ」の本部に飾っていただくことになりました。

垂水養護学校トライアルウィークでの交流会

昨年12月5日(金)垂水養護学校の中学2年生10名とシルバーカレッジ福祉部5名、垂水会6名(6期生2名、7期生4名)の交流会が垂水養護学校の体育館において行われました。後日養護学校の先生から次のようなファックスを頂きました。「先週はありがとうございました。はじめてのことなので、生徒達がど

ういう反応をするか不安でしたが、みんながとてもいい表情をして楽しんでいたので、本当によかったなと思います。いろいろと工夫した活動を考えてくださり感謝しております。皆様にもよろしくお伝えください。何かの機会にまた一緒できたらいいなと思っています。ありがとうございました。中2担任一同」

1時間という短い時間でしたが、参加した我々のほうが感動いたしました。

今年度2回目の垂水区ボランティア大会を終えて

昨年12月7日(日)千代ヶ丘会館で開かれ、出席者68名という大盛況のうちに3時間が過ぎました。日頃の活動報告の後、ボランティア



ボランティア研修会

の体験発表を裏地さん(5期)にして頂きました。沖縄からいらした視覚障害者の女性の方2名に舞子ガイドをされた体験を話されました。聞いている私たちも、温かでその場に居合わせたような気持ちにさせられました。お話が上手ただけでなく、私たちが日頃舞子ガイドや垂水ガイドを体験して、ボランティアとしての喜びを共に感じているからではないでしょうか。後日ピッタリの言葉を福原さん(1期生)より伺いました。「創生易、守成難」。次の世代に譲っていく責任を痛感いたしました。時を違えてシルバーカレッジに学びましたが、垂水区に在住しているということで集まっている皆様とともに、垂水会が益々発展することを祈りたいと思います。